



+



Realsoft

事例

潮冷熱株式会社、インフォアのERPを3か月で導入 業務効率化・顧客体験向上により ビジネスの成長を加速

船舶向け空調・冷凍機器のリーダー企業が、Infor SyteLine導入でビジネスを拡大

潮冷熱株式会社（以下潮冷熱）が、国内のみならずグローバルマーケットに於いても一段と競争力を高めるべく、インフォアの組立製造業向けのERP「Infor SyteLine」を導入しました。潮冷熱は、1977年に設立、船舶向けの空調・冷凍冷蔵機器、エレベータの製造・販売を中心にグローバルでビジネスを展開しており、同業界で国内トップシェアを誇ります。「他に真似できない技に挑み続ける」ことを信念に、船舶向け事業で培った技術と知見を活かし、ビジネスを拡大し続けています。

デジタル化によってアフターサービス事業を売上げ増へ

潮冷熱はInfor SyteLineにより、船舶の修理を手掛けるアフターサービス事業において、一元化された顧客情報を基にした“攻めのサポート”と顧客体験の向上を実現しています。これにより同事業の売上は大きく増加し、同社が今後注力するデータドリブンな経営戦略

“アフターサービス事業は、お客様の要望に最大限に応えるという当社の強みを支えるビジネスの柱の一つであり、特に迅速な変革が求められています。インフォアのERPにより、アフターサービス事業を皮切りにDXを推進し、企業価値を高めていくことで、今治地域ならびに日本、世界へと貢献していきたいと考えています。”

飯泉 雅彦氏

潮冷熱株式会社 取締役（DX・人事総務・製造・修繕担当）



本社

今治市、愛媛県

売上高

67億8,539万円（2020年3月期実績）

業種

船舶空調・冷凍機器、
船舶エレベータの製造・販売

従業員数

300名

Infor製品

Infor Syteline

Webサイト

ushioreinetsu.co.jp

の第一歩となっています。

船舶用製品は、販売後およそ20年のライフサイクルのうち、何度かの修理を行います。お客様情報や修理履歴を一元管理することで、例えば環境対策を強化した製品への置き換えを順次促していくなど、お客様にあわせた提案型のアフターサービスを行うことで、価値の最大化を狙うことができました。

本導入プロジェクトは、インフォアのパートナー企業である株式会社リアルソフトが導入・運用を支援し、わずか3か月で導入が完了しています。

導入の背景

潮冷熱は、1977年に設立、船舶向けの空調・冷凍冷蔵機器、エレベータの製造・販売を中心にグローバルでビジネスを展開しており、同業界で国内トップシェアを誇ります。「他に真似できない技に挑み続ける」ことを信念に、船舶向け事業で培った技術と知見を活かし、ビジネスを拡大し続けています。

現在同社は、人依存の業務プロセスから脱却し、データドリブンな経営を実現すべく、DXの推進に取り組んでいます。そのためには、各部門で管理する500を超えるエクセルの情報や個々のソフトウェアの情報を統合するためのプラットフォームの構築が不可欠でした。

同社は、情報の一元化に加えて、構成の変更や他システムとの連携性が容易な柔軟性の高さにより、同社のものづくりやきめ細かな顧客対応を強化できることを決め手に、組立製造業で豊富な実績を有するInfor SyteLine をDX推進のプラットフォームとして選択しました。

導入効果

Infor SyteLineは、2021年6月の稼働開始より、アフターサービス事業を支える修繕管理、顧客管理および販売管理の領域において利用され、毎日100件近くの修理業務がデジタル化されました。人依存のプロセスが減り、効率化が進んだことで、より迅速な問い合わせ対応を実現しており、さらには顧客情報を基にした能動的な提案ができるようになったことで、アフターサービス事業の売上は大きく増加しています。

ビジネス上の成果

- リアルタイムな情報入力により、製品・工事ごとの損益状況を即座に把握
- 提案型のアフターサービスを実施、売上増加に貢献
- 個別受注型生産から新規事業領域の繰り返し生産対応にも対応
- Webサービスとの親和性が高いシステムのため、今後のDX戦略に柔軟に追従可能

同社は今後、2023年までに、生産管理や購買管理、在庫管理、財務会計、人事までInfor SyteLineの活用範囲を拡大し、部門をまたがり一元化された情報に基づくビジネスをグローバルに確立する予定です。

今後の展開

潮冷熱は今後、2023年までに、生産管理や購買管理、在庫管理、財務会計、人事までInfor SyteLineの活用範囲を拡大し、部門をまたがり一元化された情報に基づくビジネスをグローバルに確立する予定です。

生産現場や修理現場では従来紙による管理が主流でしたが、タブレットを活用することでリアルタイムな情報入力にも貢献し、これにより製品・工事ごとの損益状況を即座に把握することができ、この情報をもとに将来の着地見通しも判断することができ、人依存で行ってきた判断からの脱却を目指しています。

[詳しくはこちら](#) 



インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で65,000以上のお客様を支援しています。

Copyright© 2021 Infor. All rights reserved. 本文に記載の文字標章および図形標章は、インフォアおよび/またはその関連会社ならびに子会社の商標および/または登録商標です。本文に記載のすべての他の商標は各所有者の所有物です。 www.infor.com

東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル16階

INF-2592258-ja-JP-1121-1